言語技術の効果的な活用・言語活動の充実を図った
ことばの授業実践例

福山市立東中学校

1　学年・単元　　第１学年　絵の分析

2　本時の目標　　絵から分析的に情報を取り出し，解釈・想像した事から自分の考えを組み立て，分かりやすく説明することができる。

3　本時の工夫点　絵を分析することを通して，根拠をはっきりさせ，相手に論理的に説明をする力を養う。また,順序立てて分析文を書くことで,構成を考える技術を身につけ,原稿用紙に慣れさせる。

4　学習の展開

学習活動	指導上の留意事項	評価規準 （評価方法）
1　発声練習をする。 2　１枚の絵をしっかり見て，何を描いた絵か考える。 3　本時の目標を提示する 絵から分析的に情報を取り出し，解釈・想像したことから自分の考えを組み立て，分かりやすく説明することができる。	・はっきりと口を開けるとより明瞭に発声できることを伝える。（授業の中での発言も皆に聞き取りやすくはっきり明瞭に話す。） ・感想ではなく，何を描いた絵か考えさせる。 ・多様な意見を述べさせる。	
4　全体的・大きい情報について理論的に思考し，分かりやすく説明する。 （場所・季節・天気・時間など） ・季節はいつごろ？ ・天気は？ ・時間はいつごろ？ 5　部分情報・小さい情報について理論的に思考し，分かりやすく説明する。 ・この家の家族は何人？ ・これから何が始まるのかな？ など	**情報を的確に分析する技術** 絵を細かく観察し，得た情報から季節や天気などについて，考察させる。 **情報を正しく伝える技術** 考察した内容を，根拠をはっきりさせ，聞いている人にわかりやすく明瞭な発音で伝えさせる。 **受け答えをする技術** 友だちの意見を自分と対比させて考え，付け加えや，反対意見など，根拠をはっきりさせて発言させる。	・情報を分析的に取り出し，解釈・想像したものを論理的に説明する事ができる。 （発言・態度 ワークシート）
6　分析した内容を分析文にする。	**構成を考える技術** 分析したことをどのような順番で書けばわかりやすいかを考えさせる 段落を意識し，はじめと終わりに何を分析したかを入れさせる。	・分析文を書くことができる。 （態度・原稿用紙）
7　自己評価表に具体的に記入する。	・学習を振り返り自己評価表に記入させる。	